

No.1015(二〇〇八年一月一日号)から
No.1038(二〇〇八年二月一五日)まで

No.1015 (二〇〇八年一月一日)

◇巻頭言◇ ○八年の展望 — 大動乱は必至? —

国鉄闘争の現局面と解決への提言

「大敗で較差に目配り」は大ウソ — 福田内閣と政治のゆくえ —

地域から権利拡大

— おきたまユニオンの現状と問題 —

教育の危機を直視し、教育基本法を取り戻す共同の闘いを

社会保障カード、福祉目的税そのネライ

米国はいつまで世界を支配できるか

— 世界情勢の特徴について (上) —

【書評】『真実はかならず勝つ』 邪魔な反動思想を撃つパンフ

読者からのおたより

滝野 忠

山下 俊幸

橋 幸英

福田 政一

横堀 正一

塚本 鉄男

編集部

No.1016 (二〇〇八年一月一五日)

◇巻頭言◇ 「純粹資本主義」

さらなる生産性向上を提起 — 関心は賃金から「労使関係」全般へ —

◇資料 08年版『経労委報告』 — 「日本型雇用システムの新展開と課題」

李明博は独占資本家 — 韓国のゆくえ、三つのポイント —

メンタルヘルス不全が第一位で五二%に — 病気休暇三〇日以上理由 —

◇資料 歴史家・作家 タリク・アリ パキスタン 戦略的視点だけで見るな

衰退する米国の「国力」 — 米国はいつまで世界を支配できるか (下) —

読者からのおたより

編集部だより

滝野 忠

No.1017 (二〇〇八年二月一日)

◇巻頭言◇ ぼくが教師になったとき

総選挙、政界再編はあるか

神戸市が「自爆テロ」想定 国民保護図上訓練

— 戦争を起こさせないことが最大の「国民保護」 —

『科学的社会主義と社会民主主義の相違』(いずみ橋書房)を読んで

サブプライム問題 拡がりゆく惨状

◇横堀さんサヨウナラ◇ 二人だけのお通夜

横堀 正一様へのご報告

◇投稿◇ 資本は「神」となった

読者からのおたより

しづや

すみお

編集部

原 野人

「ニューヨークタイムズ」社説

園田 裕子

太田 耕造

六津五郎

No.1018 (二〇〇八年二月一五日)

神戸地区春闘共闘

◇巻頭言◇ ○八春闘 かくたたかう

春闘は労組を考え、作り直すチャンス

◇資料◇ 全動労判決への「声明」(二〇〇八年一月二四日)

「国家的不当労働行為」との闘いの正しさを証明

J・C・旧同盟路線の破たん明らか

—○八春闘の構図—

オハイオ州 ブルーカラーとしての生活が消える 「ニューヨークタイムズ」社説

—中西部に広がる経済苦境—

読者からのおたより 編集部だより

No.1019 (二〇〇八年三月一日)

◇巻頭言◇ 活字文化とテレビ文化 滝野 忠

インテリゲンツィアの変質

次は三月一三日の第二次訴訟だ 国労美幌闘争団

—全動労判決「一部不法行為」認定—

「組合員の幸せ」づくり —新たな始まりに向けて— 「日刊ちゅうたん」

◇『たたかう！ 社会科教師』増田都子著(社会批評社)を推薦する◇

都教委・獅子身中の虫

鎌田 慧

出版記念会のご案内

「君が代」起立を強要する輩の論理と心理

「再雇用」制度で賃金は三七・五%に

—父親と競争させられる子どもたち—

やったぞ バンザイ!

羽川 健治

基地跡地整備計画の賛否問う住民投票を求める署名活動が始まった!

危険でムダなミサイル防衛 —土浦市で学習会— ネットワーク500

読者からのおたより

葛西JR東海会長、証人喚問決定! —編集部だより

No.1020 (二〇〇八年三月一五日)

◇巻頭言◇ 仲間に学んだ一四の原則 佐賀 章男

—約二〇年間、私鉄の闘争オルグをして—

べらぼうな話 —新銀行東京そして、「あたご」—

人間と自然 —環境問題への基本視点— 滝野 忠

「市場の反乱」が始まった

編集部

—グローバルリズム、そして新自由主義(一)—

受任者二百八十名、署名五千人射程に —朝霞「基地跡地整備」計画で—

読者からのおたより

No.1021 (二〇〇八年四月一日)

◇巻頭言◇ マルクス、エンゲルスの古典を読む
続けた、勝った、嬉しさが膨らんだ

滝野 忠
名古屋 哲一

―筋は通せた二十八年争議―

◇資料と解説◇「鉄建運輸機構訴訟」について

◇資料 JR採用差別事件に関する裁判(不当判決弾劾声明)

超不当判決

◇資料◇ 雇用関係存在確認等請求事件(判決要旨)

ささやかだよ、賃上げ ―〇八春闘第一幕―

朝令暮改と国家統制のはざま

編集部

―学習指導要領改定の意味するもの―

キューバは前進しつづける ―カストロ後のキューバ―

兵士として思想闘争をたたかいたい

―司令官(フライデル・カストロ)からのメッセージ―

読者からのおたより

No.1022 (二〇〇八年四月十五日)

◇巻頭言◇「せんたく」そして国の借金

小林 義昭

現憲法を「洗濯」、改悪「選択」めざす ―「せんたく」の本質―

労働者生活は「窮乏化」の途 ―〇八春闘への基本視点―

編集部

◇資料1 私鉄総連 大手組合回答についての見解(三月十四日)◇

月例表示なかったことが課題

◇資料2 電機労連 今後の課題について(三月十二日)◇

時間外割増率は継続討議

◇資料3 基幹労連 受け止め、評価、対応(三月十二日)◇

回答は率直に評価

「我が自己批判の書」

松里 福慈

―国労旭川地本紋別闘争団・須藤俊春さんの遺志を継いで―

国富ファンドの侵略

読者からのおたより

編集部だより

No.1023 (二〇〇八年五月一日)

◇巻頭言◇ 1047名の解雇撤回！反新自由主義キャンペーン！

中野 勇人

―自分と向き合い、自問を繰り返した二七日間―

「道州制」―「窮極の構造改革」の意味(上)―

滝野 忠

『労農派マルクス主義L理論・ひと・歴史上巻』のすすめ

稲村 守

―A5判上製四二〇頁定価四一〇〇円+税社会評論社刊―

「反中国」キャンペーンにだまされるな ―チベット問題の視点―

ポツタクリ企業への「必殺仕置人」

花井 吉宅

―3・23合同学習会「河添講演」・in土浦―

独占資本の強化策 ―新自由主義、そして規制緩和―

読者からのおたより

No. 1024 (二〇〇八年五月一日)

■巻頭言 ■ 大牟田労災病院廃止 「確認書」早期実現を求め決起集会―
直接雇用を勝ち取った

小西 純一郎

― 武庫川ユニオン尼崎市分会派遣労働者のたたかい―

米英の「人権」論をわらう ―チベット問題は中国をつつく材料―

◇NPOひょうご労働安全センター◇

― 阪神路大震災によるアスベスト被害に関する申し入れ―

「全労協」新聞

ストライキをかくたたかかった

◇座談会◇「グローバル化」と国際情勢 ―世界情勢を語る(上)―

大阪市議会「チェックオフ制度」廃止の条例 ―窮極の労働組合破壊攻撃―

読者からのおたより

No. 1025 (二〇〇八年六月一日)

◇巻頭言◇「人間」回復の闘いだ

酒井 浩二

― 武庫川ユニオン 五人の女性たち―

政治を変える ―下がる下がる福田支持率―

制度廃止求め国会に意見書を

原 義弘

― 後期高齢者医療制度を廃止させるために―

サルコジ改革に反旗 ―フランス鉄道労働者の闘争―

「イワンのばか」と非戦思想

滝野 忠

イラク派兵に違憲判決

9条ネット・滋賀

― 全護憲勢力は「恒久法」反対に団結しよう―

「九条」回復、憲法改悪論後退―六一回めの憲法記念日―

編集部

9条世界会議が開催、会場から溢れる参加者!

渋谷・K

◇投稿◇ 国家総動員体制の21世紀版 ―せんたく―

六津 五郎

読者からのおたより

No. 1026 (二〇〇八年六月一日)

◇巻頭言◇ 大阪の「若者」知事と自治労運動

あるべき国労運動のために

金平 博

「学力向上」「評価制度」のはざままで ―いま教育職場では―

相沢 瑞男

「道州制」導入は古くから ―地方分権「改革」で一挙に加速―

共産党の変質、墮落

― 志位さんの「日本共産党宣言」を読んで―

編集部

四川大地震への基本視点

― 「明日の日本」への教訓―

読者からのおたより

No.1027 (二〇〇八年七月一日)

◇巻頭言◇ 大朗報「三悪都議」に勝った！
退職金不利益変更はゆるせません — 意見陳述書 —
解決のゴールまで邁進を

増田 都子
宮下 ひとみ
名寄闘争団

— 首切りの実行責任者が証言席に —
不当労働行為が鮮明に

名寄闘争団

— 鉄建公団訴訟 葛西尋問で —

国家は「競争力強化」「金儲け」の道具

編集部

— 日本経団連の「品格」 —

保険料負担だけが、問題点ではない！

原 義弘

— 後期高齢者医療制度 —

連続ピストル射殺事件から四十年、秋葉原・無差別殺傷事件

稲村 守

— 集団就職・出稼ぎから派遣・非正規へ —

読者からのおたより

No.1028 (二〇〇八年七月十五日)

◇巻頭言◇ 六ヶ国協議進展、李・福田政権沈没

滝野 忠

— 韓国、日本の政治状況 —

◇投稿◇ G8外相会議に六千二百人の大警備

◇サミット外相会議反対！「集会宣言」(〇八年六月二五日)

G8指導者こそ環境破壊、貧困の犯人

C評価、そして退職 — 社会保険庁職場の現状 —

現代労働運動の焦点と課題 — 組合大会始まる(上) —

◇資料と解説◇ 日本経団連総会決議(要旨)

大鷲 白

事件を語る資格があるか！

— 暴走する者、自死する者…その力を目の前の理不尽に向けよ！ —

動き始めた道州制導入論 — 財界・政府と推進勢力のあつれき —

読者からのおたより

No.1029 (二〇〇八年八月一日)

◇巻頭言◇ 独占資本と金融再編成

滝野 忠

壮大なムダ — G8を評価する —

厚労省、社保庁が犯人なのに — 社会保険庁解体攻撃の職場の現状 —

J P 民営分社化から七ヶ月 — ギスギス満開の職場 —

新銀行東京、築地市場移転、オリンピック招致 — 三文作家、さあどうする —

自己責任で国の責任は放免 — 道州制導入の帰結 —

◇資料◇ 地方政府創造会議(「せんたく」) 活動目標の概要

読者からのおたより

編集部だより

No. 1030 (二〇〇八年八月一日)

◇巻頭言◇ 独占化する天然資源市場

歴史はくり返す 昭和研究会と21世紀臨調 | 改めて「せんたく」の本質を論ず | 滝野 忠
労農派マルクス主義初の通史完結 稲村 守

— 『労農派マルクス主義と理論・ひと・歴史』下巻 を読む —

◇ 投稿 ◇ 「社会党3X」そして「日本共産党宣言」 木村 哲蔵

東京高裁南裁判長が「話し合いで解決」を提案！ 国労紋別闘争団

— 冬柴国土交通大臣は「受けて努力すべき」 —

◇ 組合大会始まる (中) ◇ 組織拡大、そして政治闘争

— 現代労働運動の焦点と課題 —

オバマ優勢 | 〇八米大統領選挙所感 (上) | 小山 透

読者からのおたより

No. 1031 (二〇〇八年九月一日)

◇巻頭言◇ よく遊び よく学び よく闘い 新たな前進を 小西 純一郎

武庫川ユニオン結成二〇周年の歩み

独占資本と労働組合の役割 滝野 忠

冬柴国土交通大臣、「誠心誠意、解決に努力」の言葉は重い 国労名寄闘争団

「屁の河童」首相は解散できない | 「ノタレ死に」解散へ | 編集部

◇ 組合大会始まる (下) ◇ 「国の基本問題」そして春闘

— 現代労働運動の焦点と課題 —

米 大統領選挙のゆくえ (下) 小山 透

中 野勇人のラストラン！ 政府に「国鉄労働者1047名問題解決の決断を迫る！」

— 九州・東海道飛脚キャラバン始まる！ —

読者からのおたより

No. 1032 (二〇〇八年九月十五日)

◇巻頭言◇ 解決交渉を決断させる 国労紋別闘争団

— 〇・二四集会の成功は解決に直結 —

登録型派遣の原則禁止を！ 広島・スクラムユニオン

— 大きな成果を勝ち取った関根氏講演会 —

前進、失敗、闘争中 | 「おきたまユニオン」の闘い | 福田 政一

◇ 書評 ◇ 『パワハラ社長にも申した日』(深沢幸子、おきたまユニオン刊)

誠実な労働者魂、懐深いユニオンに感銘

◇ 投稿 ◇ 市立岐阜商を立命館に払い下げ？

◇ 続報 ◇ 人事院に不服申し立て

◇ 投稿 ◇ 食品偽装、使い回しは大昔から

権力闘争の始まり | 総選挙まで一年切った —

ロシアとグルジア

三七年余で一万三一二号 | 『日刊ちゅうたん』終刊 |

読者からのおたより

No.1033 (二〇〇八年一月一日)

◇巻頭言◇ 住民基本台帳カードの利用に関する条例

山下 けいき

—私の議会報告—
労働者として働きたい —社会保険庁の職場から—

◇資料1◇ 「無許可専従」に関する処分について(全国社会保険職員労働組合)

◇資料2◇ 社会保険庁改革に対する取り組み(「自治労」方針)

◇投稿◇ チベット問題に一言

羽川 健治

環境と戦争 —洞爺湖サミットから—

編集部

資本主義を「変える？」 —組合大会の傾向(一)—

足腰弱まる自民党 大敗必至 —国家は支配者の「共同の委員会」—

花井 吉宅

「9条ネット」の教訓

編集部

No.1034 (二〇〇八年一月一日)

◇巻頭言◇ ○九春闘めぐり論議開始

滝野 忠

—物価高、不況、業績悪化の中で—

大嶋 甲三

他人まかせではいられない時代 —来春闘も月例重視の闘いを—

西村 昭

都教委の暴走 —「日の丸・君が代」から教育行政全般へ—

編集部

大分県教委二人を解雇 春闘、組織再編、初大会、そして政治 —労働組合大会から(二)—

国鉄闘争の焦点 —鉄建公団訴訟東京高裁裁判—

続報 市立岐阜商「払い下げ」問題

衆院選挙への課題 「市場の反乱」が始まった —世界情勢の特徴について(上)—

読者からのおたより

No.1035 (二〇〇八年一月一日)

◇巻頭言◇ ぼくの勉強法

滝野 忠

国鉄労働組合の仲間へ

高坂 陽光

「筋を通すこと、正しいことを主張し続けることの重要性」を確認

稲村 守

—10・16今こそ政治決断を！JR採用差別問題の解決要求実現めざす京都集会—

神戸地区労働

—第29回全国地区労交流集会—

二宮 基

「熱気」「元氣」そして「勇氣」もらった

—第二〇回コミュニティ・ユニオン全国交流集会IN千葉に参加—

大統領選はオバマで決まり 日本は

原和美を国会に送る会

—和美さん(兵庫一区)に出馬表明—

「政権交代」の合唱に現場の声を埋もれさせるな—

丸江 麗

現代の「恐慌」

編集部だより

No. 1036 (二〇〇八年一月十五日)

◇巻頭言◇ 日米合同軍事演習反対！ 11・22あいば野集會

稲村 守

母なるびわ湖を軍靴で荒らすな！

許されない大分県教育界の実態

H・K

― 大分県教育長に公開質問状 ―

金融恐慌下の〇九春闘

編集部

― 「物価上昇分」どうする ―

◇資料◇ 歴史の転換点にあたって

― 希望の国日本へ舵を切れ (日本労働組合総連合会、〇八年十月二三日) ―

「二〇四七名問題の納得いく解決」求める

― 10・24中央大集會アピール (二〇〇八年一〇月二四日) ―

労働運動強化の原点 ― 労働組合運動入門 (一) ―

山下 俊幸

読者からのおたより

編集部だより

No. 1037 (二〇〇年二月一日)

◇巻頭言◇ 鉄運訴訟の第一回控訴審始まる

― 中西裁判長の原審判決を徹底糾弾し控訴審で公正判決を求める意見陳述 ―

イジメを超えた満了型選択者への強制配転

― 大会宣言 (西日本NTT関連労組第七回大会 〇八年九月六日) ―

原 和美候補 (兵庫1区) との連帯をさらに！

滝野 忠

マルクスの恐慌論と現代金融恐慌 ― 恐慌はなぜ起こる (一) ―

消費者が金縛りにあうとき

ポール・クルーグマン

― 「俚約のパラドックス」 「ニューヨークタイムズ」 〇八年十一月一日号 ―

オバマと世界政治のゆくえ

資本主義、労働者、労働運動 ― 労働組合運動入門 (二) ―

山下 俊幸

◇投稿◇ これから年末の物資販売だ！

佐野 周二

読者からのおたより

No. 1038 (二〇〇八年二月十五日)

◇巻頭言◇ 国際金融危機と世界同時不況

小林 晃

オバマは「チェンジ」できるか

編集部

金融危機の現段階 ― アメリカ発「金融危機」は世界恐慌へ (二) ―

初の統一集會で原和美さんの元気な発言

稲村 守

― 「日米合同軍事演習反対、11・22あいば野集會」成功 ―

労働組合、団結、そして権利 ― 労働組合運動入門 (三) ―

山下 俊幸

読者からのおたより